

論文題名：中国における消費者の食品安全信頼性向上
に関する理論的・実証的研究

Theoretical and Empirical Study on Consumers'

Trust of Food Safety in China

立命館大学大学院政策科学研究科
政策科学専攻博士課程後期課程
オウ ホウヨウ
王 鳳陽

近年、中国は目覚ましい経済成長を遂げ、国民の生活レベルの向上及び食生活の多様化に伴い、食品の品質や安全性に対する関心が高まっている。しかし、中国では食品安全に真剣に取り組んでおり、食品の安全性や品質管理能力が改善されつつある一方で、人々の食品安全に対する不安が続く形となっている。したがって、中国においては、食品安全に対する消費者の不安がなぜ続く形となっているのか。その対応策について、食品の安全性の改善・向上を図ると同時に、食品安全に対する消費者の不安を如何に解消するか、あるいは食品安全システムに対する消費者の信頼を如何に構築することが中国の喫緊の課題と言っても過言ではない。そこで、食品安全に係わる消費者不安心理の構造分析を行う必要があると考えられる。近年、食品安全分野においては、食品の客観的安全性と消費者の主観的安心を結びつけて考えられることが多い。中国の食品安全に関して、技術的・客観的安全性の向上を巡る研究は蓄積されているが、食品安全に対する消費者の社会的・主観的安心・信頼の構造とその規定因の影響関係を総合的かつ計量的に検証した研究は少ない。

本論文の目的は、中国における食品安全に対する消費者の心理的な安心・信頼の問題に関して理論的・実証的な手法から検討を加えることである。具体的に言えば、本論文では、近年、中国における食品の安全性や品質管理能力が改善されつつある一方で、食品安全に係わる消費者の心理的不安が続いているという現実的背景のもとで、食品の客観的・技術的な安全性の向上を図ると同時に、消費者の食品安全に対する不安がどこから生じるのか（なぜ不安は生じるのか）、如何に安心するか（如何に不安を解消するのか）、あるいは食品安全システムに対する消費者信頼性の実態と課題、及びこれにかかわる政策の方向性の提示について理論的分析、並びに実証的分析によって明らかにすることを目的としている。そのために、①食品安全に対する消費者不安・不信感を抱くまでのリスク認知構造及び信頼生成に関する理論の把握(理論的研究)、②中国の消費者を対象とした質問調査による量的調査研究を通し、食品安全システムに対する信頼感を醸成させる要因の析出(実証的研究)、③更に、日中比較の研究を通じて、中国における食品安全に対する消費者信頼性の確保、向上方策を分析・検討していく。

本論文は、6章で構成されている。第1章は序論であって、問題の提起あるいは本研究の

背景、従来研究の概要とその問題点を論述するとともに、本研究の目的と研究手法を述べている。

第2章では、分析に係わる理論的アプローチを行う。まずは、本論文で用いる言葉の定義を示しておく。次に、先行研究を踏まえ、消費者の食品に対する不安・不信感を抱くまでのリスク認知構造及び信頼理論を整理・検討し、本研究の理論的分析の視座を提示する。

第3章では、理論研究を踏まえ、消費者の目線に立ち、調査研究を通じ、中国における食品安全をめぐる消費者信頼性の状況及びその規定要因を明らかにする。この部分では、食品安全消費者信頼評価モデルを構築・検証し、消費者信頼性向上を求めるリスクコミュニケーションの現実的意義を検討する。

第4章では、第3章の分析結果をもとに、情報要因に着目し、中国における食品安全信頼性の向上をめざすリスクコミュニケーションの現状と課題について実証研究を行う。中国で実施した消費者意識調査を通じ、食品安全情報に対する消費者信頼の状況を把握し、食品安全情報信頼性の要因評価モデルを構築・検証する。消費者信頼の向上を求めるリスクコミュニケーションのあり方についても検討する。

第5章では、日中比較を通じて、食品安全管理システムの視点から、両国における食品安全の確保に関する制度的比較を行った上で、中国における消費者に向けたリスクコミュニケーションの現状と課題、及び今後の取り組みについて、一層の解明を目指す。

第6章で結論であり、本論文の成果を総括し、施策に対する提案を出す。最後に、研究の不足点と今後の課題・展望を示す。

本論文は、中国における消費者の食品安全信頼性向上に関する理論的並びに実証的研究をとりまとめたものである。各章の内容及び結論は、次の通りである。

本論では、「中国では食品安全に真剣に取り組んでおり、食品の安全性や品質管理能力が改善されつつある一方で、人々の食品安全に対する不安が続く形となっている。」という背景のもとで、消費者の食品安全に対する不安がどこから生じるのか（なぜ不安は生じるのか）、如何に安心するか（如何に不安を解消するのか）などの問題意識に関して、リスク認知と信頼について理論的考察を展開するとともに、中国で実施したアンケート調査の結果を用いて消費者の食品安全信頼性に関する実証的研究を行った。消費者の食品安全への心理的不安に関して、従来別々に扱われてきたリスク認知（内在的・個人的）と信頼生成（外部的・関係性）という両方の視点を統合した理論的分析を実施したことは、理論的意義①であると考えられる。中国の食品安全問題に関して従来総体的に軽視されてきた、消費者の心理的動向、主観的安心・信頼についての実証的・計量的研究を行ったことに本研究の理論的意義②があると考える。食品安全を対象とした研究は、安全性、行政（管理）、経済、消費行動、文化など多面的・総合的視点から理解が必要がある。更に、食品の安心・信頼は、以上の視点を踏まえて、消費者の心理的構造も把握する必要である。中国の食品安全に関して、学際的・横断的な視点・情報を系統的に統合し、定性的把握（食品安全管理システムに対する考察すること）と定量的研究（通算1700人規模のアンケート調査結果に基づき実証分析）を通じ、中国が直面している食品安全・安心・信頼問題を正確に理解、適切な政策の方向性の提示を試みたことも、本研究の政策科学的特徴と意義③である。食品安全には様々なリスクが潜んでおり、絶対的な安全（ゼロリスク）を確保するのは不可能である。消費者が食品の安心を得られるかどうかは、フードシステムに対してどの程度信頼をもてるかによって決まる。システムの視点から、行政（政府）や事業者、科学者・専門家、マスメディアなどの全ての関連主体への信頼性を総合的に考慮できたことも本研究の意義④である。更に、理論的・実証的研究、及び日中比較研究による本研究の知見は、中国における消費者の食品に対する不安・不信の心理的構造を解明でき、消費者の食品安全信頼性向上に向けた食品安全システムの構築や効

果的なリスクコミュニケーションのあり方に実践的・政策科学的意義⑤を与えると考える。

第2章の理論的研究においては、主にリスク認知構造と信頼形成の視点から、食品の安全性に対する消費者の不安が生み出された複雑な心理的・社会的過程を理論的に解明した。簡単に纏めれば、現代の分業化社会において、食品科学技術や加工プロセスの複雑化に伴い、食品の安全性に対する社会的受容性（社会的・心理的不安）に関しては、リスク認知（内在的・個人的）、信頼性（外部的・関係性）などの心理的要因が重要である。本論文は、先行研究を踏まえて、食品リスクの特徴を考慮してリスク認知と信頼生成という両方の視点を統合して、消費者不安の心理的構造の解明を試みた。まずは、食品の安全性に対する消費者リスク認知の構造・特徴、及び「主観的リスク認知」と「客観的リスク」との認知のギャップについて理論的考察を行った。次に、信頼の構造と生成プロセスを考察した上で、「信頼は安全と安心の両者を結ぶ、あるいは安全を確保するだけでは不十分で、信頼も得ることによりはじめて消費者の安心が達成できる（安全の確保+信頼の醸成→安心の確保）」という視点に立って、消費者不安を解消するために、食品安全性の確保を図るとともに、消費者からフードシステムが安全である、との信頼が得られなければならない、と指摘した。更に、上記の視点に基づき、信頼の生成に関して、現代の食品安全システムにおいてすべての関係主体と消費者との明確的且つ効率的なリスクコミュニケーションが必要且つ重要となるという理論的意義を提示した。

第3章の実証研究においては、消費者の食品安全性をめぐる心理的不安の規定要因は食品安全システムに対する信頼性、という理論的視点に立脚して、中国における消費者の食品安全信頼性の現状及びその規定要因を明らかにした。調査研究を通じた本実証研究では、食品安全信頼性評価モデルの構築・検証によって、食品安全信頼性の「事業者への信頼性」、「外部情報の取得と信頼性」、「監視・管理能力の感知と信頼性」、「消費者の自主管理」という4つの規定要因から実証的分析を行った。また、共分散構造分析による食品安全信頼の実証モデルを通じた仮説検証の結果から、「食品安全の立法と規格体系づくりの強化」、「罰則の強化」のほかに、「食品事業者と消費者との情報共有」、「消費者との効果的なリスクコミュニケーション」、「リスク管理機関は食品安全を確保するための管理理念・方法を消費者に理解させること」などの施策の方向性を提示した。更に、消費者にとっては、マスメディアや科学者・専門家等からの外部情報の取得とその信頼性が、食品安全信頼性に最も強い影響を及ぼすことにより、食品の安全性及び食品安全の施策に対する理解を深めるためのリスクコミュニケーションが信頼醸成の鍵であると考えられる。

第4章の実証分析では、第3章の実証分析で明らかにされた結果を受け、食品安全信頼性のもっとも強い規定要因である情報要因から、質問紙調査を通して、中国における消費者の食品安全情報信頼性の状況を把握し、共分散構造分析による食品安全情報信頼性の心理要因評価モデルの構築・検証を行った上で、食品安全信頼性向上をめざす食品安全情報の伝達手法、あるいはリスクコミュニケーションのあり方を明らかにした。まず、食品安全情報信頼性の状況に関して、全体的な食品安全情報信頼性、食品安全情報の情報源・情報発信主体とその信頼性を把握した。そこで、SNSの急速発展により、政府機関や公共団体・第三者機構、事業者などが、如何にSNSを十分かつ効果的に活用することが求められることを指摘した。食品安全情報信頼性と対応傾向に関しては、「高信頼度」、「中信頼度」、「低信頼度」に分けて分析を行い、「中信頼度」、「低信頼度」を持つ傾向が明らかであり、「高信頼度」を持つ人が少ないという状況について分析も行った。更に、こうした食品安全情報に対する消費者の低信頼性の状況、常に食品安全の問題による消費者の過剰反応や風評被害に密接に繋がっていると考えられる。更に、調査対象の属性を考慮して、食品安全情報への信頼性と人口学的変量との相関分析を行った。分析のもとで、性別や学歴などの視点から食品安全信頼性向上た

めの政策的方向性を提示した。次に、共分散構造分析による食品安全情報信頼性の心理要因評価モデルの構築と検証においては、「SNS 情報信頼性」、「監視・管理情報信頼性」、「外部情報信頼性」という3つの影響要因から実証的分析を行った。食品安全情報信頼性が「監視・管理情報信頼性」（正の相関）、「外部情報信頼性」（負の相関）から強く影響される。監視・管理に関する情報の開示に関して、消費者の信頼性が高い発信主体としての政府、関連協会・第三者機関などからの発信を強化すべきであると提示した。また、監視・管理による情報の開示は、SNS 使用との相関が弱い根源は、SNS 利用の不十分・不効率や運用面での問題点であると指摘した。SNS の情報過剰によるマイナスの影響も考えなければならない。外部情報に対する信頼性の課題は、信頼されている発信主体である政府、マスメディア（従業者）、専門家、有名人、医者などが食品安全情報を伝える時にも伝達の方式を考える必要がある。

第5章は、日中比較を通じて、食品安全管理システムの視点から、両国における食品安全の確保に関する制度的比較を行った上で、中国における消費者に向けたリスクコミュニケーションの現状と課題、及び今後の取り組みについて、一層の解明を目指す。まずは、日中比較研究の背景と成立性を論述した。次に、法制度と行政体制の視点から、日中両国における食品安全の確保に関する制度的比較を行った。そして、同じ視点から、日中の比較研究を通じ、中国における食品安全の確保にかかわる制度的課題とその施策の方向性を提示した。また、日中比較研究によって、法律面、行政体制の面、リスクコミュニケーション実践の面の3つの視点から、中国における食品の安全性への信頼性、あるいはフードシステムへの信頼性の向上を求める食品安全リスクコミュニケーションの課題を纏めた。最後に、本論文の理論分析、実証分析の成果を踏まえて、日中比較から検討した中国の諸問題により、中国の食品安全の確保に向けた法律と行政体制の整備・改善、及び食品安全に関する消費者の信頼の構築などの視点から、日本の経験を参考に、今後の方向性及び政策のあり方について、5つの提案を行った。

第1に、不適切な事業活動を是正するための法的措置、行政体制の整備に関する対応が必要である。主に2つの政策の方向性が提示する。一つ目は、食品安全の立法と規格体系づくりを全面的に強化し、また違法行為に対する罰則についてもさらに強化する必要がある。二つ目は、食品事業者と消費者との情報共有による信頼関係の構築が求められている。食品トレーサビリティシステムの導入による情報開示の制度化が急務となっている。第2に、中国における食品安全行政は、政府の監視・管理を強化させても、消費者の食品安全信頼性向上にあまり効果がでないのが現状である。近年、中国における食品安全に関する法の全面的な改正及び制度の改革が着実に進められてきたが、その有効性、あるいは信頼性向上においては疑問が残っている。リスク管理機関は食品安全を確保するための管理理念・方法を消費者に理解させることが必要である。第3に、消費者との科学的且つ効果的な食品安全情報共有システム・情報の収集伝達手法の開発が非常に重要だと考える。主に、①SNS からの情報量が急増したが、その信頼性は情報量の増加に追いついていないのが現実である。如何に SNS を十分かつ効果的に活用することが求められる。②消費者属性別の特徴に応じ、適切な情報伝達の情報発信源・発信手法・方式の組み合わせによる効果的な情報提供が求められている。第4に、リスクコミュニケーションを支援する科学者・専門家の養成や訓練、消費者との情報や意見の交換の強化やマスメディアとの協力の促進、食品に関連する情報の提示、及び食品のリスクに関する基礎的な問題を関係者が議論する場の設定を目指すべきである。また、食品安全情報に対する信頼性に関して、「多くの被調査者が受信者としては、「共感」を持っていない」という現状に対して、消費者側の立場に立っているとの認識が信頼を得たい場合は、より消費者の立場に近く「共感」の持てる情報の発信・伝達が非常に重要であると考えられる。第5に、消費者の自主管理能力（知識、リスク認知能力、判断力、情報処理能力など）

の強化により、自分が選択した食品に対して自信を持つため、食品安全情報信頼性も高めるべきである。前提となる科学的知識の普及や丁寧な情報の収集を含めた食品安全自主管理の強化は、食品リスクに対する消費者の過剰な反応を抑制し、消費者の食品の購買行動にも影響し、信頼できる食品のみを購入することが容易に想像できる。消費者に対する食育活動の展開が大きな意義を持つと考えられる。

主な引用文献・参考文献は下記の通りである。

第1章

【書籍・論文・雑誌】

<英文> (年代順)

- John Patten, *English Towns 1500-1700*, Folkestone: Dawson, pp. 57-58, (1978)
- Ni Honggang, Zang Huizang. Law Enforcement is key to China's food safety, *environmental Pollution*, pp.157, (1990-1992)
- A. Bernard, C. Hermans and others, *Nature*, Vol.401, No.6750, p231-232, (1999)
- Chen Chuanyi, *China's Memorandum of Anti-counterfeit*. Beijing: Writers Press, pp.58-60, (2006)
- Philip J. Hilts. *Protecting America's Health: The FDA, Business, and One Hundred Years of Regulation*. Trans by Yao Mingwei. Beijing: China Water-Power Press, pp.3-4, pp.24-25, (2006)
- Zhou Zaohong. Game Analysis of Public Participation management in the food safety in China. *East China Economic Management*, Vol.23 No.9, pp. 105-108, (2009)
- ZHONG Funing, YI Xiaolan. Analysis on Difference Between Consumers' Concerns and Actual Purchasing Behavior Regarding Food Safety: Case Study of Vegetable Consumption in Nanjing, *Journal of Nanjing Agricultural University (Social Sciences Edition)*, Vol.10, No.2, pp.19-26, (2010)
- Paul Brassley, Yves Segers, Leen Van Molle. *War, Agriculture, and Food: Rural Europe from the 1930s to the 1950s (review no. 1445)*, New York, NY, Routledge, (2012)
- Song Guangxing, Tian Tian, Study on China's Food Safety Issues and Supervision Platform Based on Credit, *ICPM2012: Crisis Management in the Time of Changing World*, pp. 323-334, (2012)
- Global Food Safety Forum. The China Path to Global Food Safety, *GFSF*, pp.1-76, 2011.; Liu Shan, Xie Zhimei, Zhang Weiwei, Gao Xia, Pei Xiaofang. Risk assessment in Chinese food safety, *Food Control*, 30, pp.162-167, (2013)
- LIU Yuanyuan. ZENG Yinchu. Consumers' Response to the Melamine Scare in Dairy Markets—Empirical Analysis Based on the Consumer Surveys. *Food and Nutrition in China*. 20(3).pp. 38-43, (2014)
- LI Qingguang. LI Yongqiang. NIU Liangyun. WU Linhai. HONG Wei, Spatial Distribution and Changing Trend of Food Safety Incidents in China. *ECONOMIC GEOGRAPHY*. Vol.36. No.3. pp.9-16, (2016)

<和文> (年代順)

- 厚生省・生活衛生局「雪印乳業食中毒事故対策本部会議の結果について（第2回及び4回）」(2000)
- 厚生省&大阪市原因究明合同専門家会議「雪印乳業食中毒事件の原因究明調査結果について（中間及び最終報告）」(2000)
- 農林漁業金融公庫「食品の安全性に関する意向調査」(2001)
- セゾン総合研究所「食の安心安全に関する消費者意識と行動の変化」(2002)
- 石田英雄『クレームに学ぶ食の安全』(海鳥社, 2005)
- 徳江倫明「農業が環境に及ぼす影響をどう評価するか—マニフェストとマネジメントシステム—」『SAFETY JAPAN』(2005)
- 上野伸子「諸外国政策機関の事例考察からの食品のリスクコミュニケーション機能に関する研究」『年次学術大会講演要旨集』21(1), pp.260-263, (2006)
- 赤木麻衣子「発展途上国における経済発展と環境保全の両立」『香川大学経済政策研究』(通巻第3号), pp.5-27, (2007)
- 出穂靖弘「食の安全とリスクマネジメント—食品産業の信頼性回復を図る—」『企業診断

- ニュース』 pp.6-11, (2007)
- 宋丹瑛「中国における緑色食品認証制度の展開及び地域農業」『地域政策研究』第 10 巻第 3 号, pp.65-76, (2008)
- 内閣府 (日本)「国民生活白書 (平成 20 年版)」(2009)
- 徐芸, 南石晃明ほか「中国における粉ミルク問題の影響と中国政府の対応」『九大農学芸誌』第 65 巻, 第 1 号, pp.13-21, (2010)
- 中川丈久「消費者行政—消費者庁の設置と今後の法制展開」『ジュリスト』1414 : 51-58, (2011)
- 厚生省『国民衛生の動向 2011-2012』(厚生統計協会, 2011)
- 大西真, 伊豫田淳ほか「ドイツを中心とした EAgg-EHEC O104:H4 による大規模集団事例」『IASR』 Vol. 33, pp.131-132, (2012)
- 李東坡, 南石晃明「中国における食品安全行政の新局面及びその課題—国務院機構改革と日本の経験」『九大農学芸誌』第 68 巻第 2 号, pp.35-47, (2013)
- 三菱東京 UFJ 銀行 (中国) 有限公司トランザクションバンキング部中国調査室「国務院機構改革と機能転換」『BTMU (China) 経済週報』第 39 期, (2013)
- 南石晃明『東アジアにおける食のリスクと安全確保』(農村統計出版, 2013)
- 高橋梯二「食品の安心や不安をどう理解するか」『日本社会における食品の安心に関する調査研究報告書』(2013)
- 「安全な食品が食べたい—フランスの食の安全性」『Dossier Special』20 July, NO. 978.(2013)
- 王鳳陽「日中比較から見た中国の食品安全確保における法律と行政体制の現状と課題に関する研究」『環境経済・政策学会 2014 年度大会口頭発表論文集』(2014)
- 王鳳陽, 周璋生, 蔡建国, 仲上健一「日本における食品安全の確保に関する制度的研究」『政策科学』第 22 巻 1 号, pp.23-37, (2014)
- 陳芳 (著) (和田英男<訳>)「中国食品安全の現状と加工過程管理の発展」『中国の食・健康・環境の現状から導く東アジアの未来—地域研究における文理融合モデルの探求』Osaka University Forum on China, vol.8. (2016)
- 永田忠博「食品の安全のために」『国連大学グローバル・セミナー (UNU Global Seminar 2nd Tohoku Session) 報告集』(2016)
- 李顕軍「所感と提言: 陳芳教授の発言に対するコメントと大阪会議に参加した感想」『OUFC ブックレット 8』(大阪大学中国文化フォーラム) pp.121-124, (2016)
- < 中国語 > (年代順)
- エンゲルス『イギリスの工人階層状況 (中国語: 英国工人階級状況)』(人民出版社, 1956)
- 史培軍, 楊明川, 陳世敏「中国糧食自給率水平与安全性研究」『北京師範大学学報 (社会科学版)』 pp.74-80, (1999)
- 徐曉新「中国食品安全: 問題、成因、対策」『農業経済問題』第 10 期, pp.45-48, (2002)
- 張曉勇ほか「中国消費者对食品安全的関切—对天津市消費者的調査与分析」『中国農村觀察』第 1 期, (2004)
- 周応恆ほか「食品安全: 消費者態度、購買意願及信息的影響—对南京市超市消費者的調査分析」『中国農村経済』 pp.53-59, (2004)
- 張星聯, 唐曉純「我国食品安全問題產生的原因及对策」『食品科技』05 期, pp.1-5, (2005)
- 王珊珊, 張江山「食品安全与環境汚染」『環境与持續發展』第 5 期, (2006)
- 任端平, 潘思軼「論中国食品安全法律体系的完善」『食品科学』第 5 期, pp. 270-275, (2006)
- 金志霖「16—18 世紀中期倫敦食品供給状況分析」『華東師範大学博士学位論文』(2007)
- 何坪華, 焦金芝ほか「消費者对重大食品安全事件信息的関注及其影響因素分析」『農業技術經濟』第 6 期, pp.4-11, (2007)
- 中国国務院新聞弁公室『中国的食品質量安全狀況白皮書』(白書) (2007)
- 胡小松「經濟快速增長下的中国食品安全問題」『食品与机械』01 期, (2007)
- 韓俊 (編)『中国食品安全報告 (2007)』(社会科学文献出版社, 2007)
- 楊萍, 牛春艷「淺談環境汚染对食品安全的影响」『世界農業』第 12 期, (2009)
- 胡衛中「消費者食品安全風險認知的実証研究」『浙江大学博士学位論文』(2010)

- 焦志倫, 陳志卷「国内外食品安全政府監管體系比較研究」『華南農業大學學報(社會科學版)』第4期, (2010)
- 滕月「我國消費者食品安全意識和行為研究」『消費經濟』第27卷第2期, pp.74-77, (2011)
- 全世文ほか「食品安全事件後的消費者購買行為恢復」『農業技術經濟』第7期, pp. 4-15, (2011)
- 馬文娟「環境污染對食品安全的影響」『農產品加工』06期, (2011)
- 王文浩「食品安全問題的博弈論分析」『知識經濟』第22期, pp.4-5, (2011)
- 羅季陽, 李經津「進出口食品安全風險管理機制研究」『食品工業科技』04期, pp.327-329, (2011)
- 王二朋「食品安全事件衝擊下的消費者食品安全風險感知與應對行為分析」『南京農業大學博士學位論文』(2012)
- 余從田「我國食品安全問題產生的原因與對策分析」『食品工業』06期, (2012)
- 劉震, 廖新「基於食品安全問題的食品產業發展模式探析」『農村經濟』第11期, pp.82-84, (2012)
- 吳林海, 錢和ほか『中國食品安全發展報告2012』(北京大學出版社, 2012)
- 崔卓蘭, 趙靜波「我國食品安全監管·法律制度之改革與完善」『吉林大學社會科學學報』第52卷第4期, pp.102-108, (2012)
- 王宇紅「我國轉基因食品安全政府規制研究」『西北農林科技大學博士學位論文』(2012)
- 馬仁磊「食品安全風險交流國際經驗及對我國的啟示」『中國食物與營養』19(3), pp.5-7, (2013)
- 王鳳陽「冷戰後日本食料安全保障政策分析」『同濟大學修士學位論文』(2013)
- 郭文奇「關於我國食品安全問題的深層思考」『中國食品學報』第13卷第1期, (2013)
- 楊曙輝, 宋天慶ほか「我國農產品食品質量安全問題: 特點、症結及對策」『農業現代化研究』第34卷第3期, (2013)
- 封俊麗「完善我國網絡市場食品安全監管模式研究」『食品工業科技』(2013)
- 吳林海, 王建華ほか『中國食品安全發展報告(2013)』(北京大學出版社, 2013)
- 李迪, 路若然「H7N9禽流感心理危機的應對方式」『中國特殊教育』07期, (2013)
- 何翔「中外食品安全監管體系的比較研究」『衛生研究』第42卷第2期, (2013)
- 吳林海ほか『中國食品安全發展報告(2014)』(北京大學出版社, 2014)
- 厲曙光, 陳莉莉ほか「我國2004-2012年媒體曝光食品安全事件分析」『中國食品學報』第14卷第3期, pp.1-8, (2014)
- 文曉閣, 郭鵬「基於博弈論的食品安全监管制度激勵相容研究」『食品研究與開發』第35卷第18期, pp.268-272, (2014)
- 祝捷, 謝源濤「中國食品安全綜合評價(2008-2013)」『宏觀質量研究』第3卷第2期, pp.99-111, (2015)
- 陳君石「風險交流在新食品安全法中的地位」6月1日(China Food Information Center) (2015)
- 吳林海, 王建華ほか『中國食品安全發展報告(2015)』(北京大學出版, 2015)
- 旭日乾, 扈國芳『中國食品安全現狀、問題及對策戰略研究』(科學出版社, 2015)
- 周妮「我國食品安全現狀、成因及對策」『長江大學學報(自然科學版)』第12卷第33期(農學下旬刊), (2015)
- 鄂璠「2015最受關注十大焦點問題: 食品安全仍熱, 醫療改革回溫」『小康』第23期, pp.50-55, (2015)
- 廖海媛「經濟視覺下的食品安全問題原因分析」『食品安全導刊』(2015)
- 何莉「論中國食品安全監管機制的完善路徑」『食品與機械』第31卷第1期, (2015)
- 李清光, 李勇強ほか「中國食品安全事件區間分布特徵與變化趨勢」『經濟地理』第36卷第3期, pp.9-16, (2016)
- 李 穎新 睿態” 保障進出口食品安全」『中國食品報』(2016)
- 王鳳陽「中日韓糧食安全及合作研究」『亞太經濟』第2期, pp.91-99, (2016)

【その他資料】

The Swill Poisonous Milk Scandal in America. [http:// www. familydoctor. com. cn](http://www.familydoctor.com.cn). 2016年09月20日閲覧。

米疾病対策センター（Centers for Disease Control and Prevention, CDC）HP:
<https://www.cdc.gov/> 2016年09月20日閲覧。
 国際獣疫事務局(OIE) HP: <http://www.maff.go.jp/j/syouan/kijun/wto-sps/oie.html>. 2016年09月21日閲覧。
 厚生省生活衛生局, ベルギー産鶏肉等のダイオキシン汚染について,
 2000http://www.mhw.go.jp/houdou/1204/h0425-3_13.html 2016年08月15日閲覧。
 インドの規格食品安全局（Food Safety and Standards Authority of India、FSSAI）のHP:
<http://www.fssai.gov.in/>. 2016年09月21日閲覧。
 「中華人民共和国食品安全法（全文）」中国人大網：2015年4月25日,
http://www.npc.gov.cn/npc/cwhhy/12jcw/2015-04/25/content_1934591.htm. 2016年09月28日閲覧。

第2章

【書籍・論文・雑誌】

<英文> (年代順)

- Skeat, W. W. *An etymological dictionary of the English language (3rd. ed.)*, Oxford: Clarendon Press, (1898)
- Deutsch, M. Trust and Suspicion, *Journal of Conflict Resolution*, vol. 2, pp. 265- 79, (1958)
- Bauer, R.A. (1960), Consumer Behavior as Risk Taking, in Cox, D.F. (Ed.), *Risk Taking and Information Handling in Consumer Behavior*, Graduate School of Business Administration, Harvard University Press, Boston, pp.23-33, (1967)
- Rotter, J.B. A new scale for the measurement of interpersonal trust, *Journal of Personality*, 35, pp.1-7, (1967)
- Cunningham, S.M., The Major Dimensions of Perceived Risk, in Cox, D.F. (Ed.), *Risk Taking and Information Handling in Consumer Behavior*, Graduate School of Business Administration, Harvard University Press, Boston, pp.82-108, (1967)
- George A. A. The Market for "Lemons": Quality Uncertainty and the Market Mechanism. *The Quarterly Journal of Economics*, Vol. 84, No.3, pp.488-500, (1970)
- Bettman, J.R., Perceived Risk: A Measurement Methodology and Preliminary Findings, in Venkatesan, M. (Ed.), *Proceedings, 3rd Annual Conference, Association for Consumer Research*, Chicago, IL, pp.394-403, (1972)
- Deutsch, M. *The solution of conflict*, New Haven, CT: Yale University Press, (1973)
- Fischhoff, B., Slovic, P., Lichtenstein, S., Read, S. and Combs, B., How safe is safe enough? *Policy Sciences*, 9, pp.127-152, (1978)
- Lichtenstein, S., Slovic, P., Fischhoff, B., Layman, M., & Combs, B. Judged Frequency of Lethal Events, *Journal of Experimental Psychology: Human Learning and Memory*, 4, pp.551-578, (1978)
- Luhmann, N. *Trust and Power*, Chichester, U.K.: Wiley, pp.4, (1979)
- Slovic, P., B.Fischhoff and S.Lichtenstein, Facts and Fears: Understanding Perceived Risk. In Schwing, R.C. and W.A.Albers, Jr. eds. *Societal Risk Assessment: How Safe Is Safe Enough?* Plenum Press, pp.181-216, (1980)
- Tversky, A. & Kahneman, D. The framing of decision s and psychology of choice. *Science*, 211, pp.453-458, (1981)
- Kahneman, D.,Slovic, P., & Tversky, A. *Judgment under uncertainty: Heuristics and biases*. Cambridge University Press. (1982)
- Barber, B. *The logic and limit of trust*. NJ: Rutgers University Press, (1983)
- Luhann, N. *Trust and Power*, Chichester, U.K.: Wiley, 1979; Barber, B. *The logic and limit of trust*. New Brunswick, NJ: Rutgers University Press, (1983)
- Lewis, J.D., & Weigert, A. *Trust as a social reality*, *Social Forces*, 63, pp.967-985, (1985)
- Schurr, Paul H., and Ozanne, Julie L.: Influences on Exchange Processes: Buyers' Preconceptions of a Seller's Trustworthiness and Bargaining Toughness. *Journal of Consumer Research* 11, pp.939-953, (1985)
- Rempel, J. K., Holmes, J. G., & Zanna, M. P. Trust in close relationships. *Journal of Personality and Social Psychology*. 49, pp.95- 112, (1985)
- Slovic, P. Perception of risk. *Science*, 236(17 April), pp.280-285, (1987)
- National Research Council (NRC), *Improving risk communication*, The National Academies Press,

- (1989)
- Anderson, L. A. and Dedrick, R.F. Development of the trust in physician scale: a measure to assess interpersonal trust in patient–physician relationships, *Psychological Reports*, 67, pp.1091-1100, (1990)
- Anderson, J. C. and Narus, J.A. A model of distributor firm and manufacture firm working partnership. *Journal of marketing*, 54(1), pp.42-58, (1990)
- Hardin, R. *Trusting persons, trusting institutions*, InR. J. Zeckhauser (ed.), *Strategy and choice*, Cambridge, MA: MIT Press, pp.185-209, (1991)
- Moorman, C., G. Zaltman, and R. Deshpande, Relationship between Providers and Users of Market Research: The dynamics of Trust Within and Between Organizations, *Journal of Marketing Research*, 29, pp.314-328, (1992)
- Hardin, R. the street-level epistemology of trust, *Politics and Society* 21, pp.505-529, (1992)
- Stone, R.N.and Gronhaug, K., Perceived Risk: Further Considerations for the Marketing Discipline, *European Journal of Marketing*, Vol.27, No.3, pp.39-50, (1993)
- National Research Council (NRC), *Improving risk communication*, The National Academies Press, 1989; Slovic, P. *Perceptions of risk: Paradox and challenge*. In *Future risks and risk management*, ed. B. Brehmer and N. E. Sahlin, Boston, MA: Kluwer Academic Publishers, pp.63-78, (1994)
- Sparks, P., and Shepherd, R., Public perceptions of the potential hazards associated with food production and food consumption, *Risk Analysis*, 14(5), pp.799-806, (1994)
- Morgan, R. M., and S. D. Hunt, The Commitment –Trust Theory of Relationship Marketing, *Journal of Marketing*, 58, pp.20-38, (1994)
- Frewer L., de Jonge J., & van Kleef E., Consumer perception of food safety, *Medical Sciences*, Vol. II, 22. (1995)
- Earle, T.C. & Cvetkovich, G. *Social trust: Toward a cosmopolitan society*. Westport, CT: Praeger Press, (1995)
- McAllister, D. Affect and cognition-based trust as foundations for interpersonal cooperation in organizations, *Academy of Management Journal*, 38, pp.24-59, (1995)
- Luhmann, N. *Trust and Power*, Chichester, U.K.: Wiley, 1979; Fukuyama, F. *Trust: The social virtues and the creation of prosperity*, Glencoe, IL: Free Press, (1995)
- Mayer, R. C., Davis, J. H., & Schoorman, F. D. An integrative model of organizational trust. *Academy of Management Review*. 20, pp.709–734, (1995)
- Lewicki, R., & Bunker, B. *Developing and maintaining trust in work relationships*. In R. Kramer & T. Tyler (eds.), *Trust in Organizations*, pp.114-139, (1996)
- Frewer, L. J. What determines trust in information about food-related risks? Underlying psychological constructs, *Risk Analysis*. Aug. 16(4): pp.473-486, (1996)
- Geyskens, I., J. E. M. Steenkamp, and N. Kumar, Generalizations about Trust in Marketing Channel Relationships Using Meta-Analysis, *International Journal of Research in Marketing*, 15, pp. 223-248, (1998)
- Rousseau, D., Sitkin, S., Burt, R., & Camerer, C. Not so different after all: A cross-discipline view of trust. *Academy of Management Review*, 23, pp.387-392, (1998)
- Doney, P.M., Cannon, J.P., & Mukken, M.R., Understanding the influence of national culture on the development of trust, *The Academy of Management Review*, 23(3), pp.601-620, (1998)
- CAC/RCP: *RECOMMENDED INTERNATIONAL CODE OF PRACTICE GENERAL PRINCIPLES OF FOOD HYGIENE*, Rev. 3 (1997), Amended, (1999)
- Bennett, P. Understanding responses to risk: Some basic findings. *Risk Communication and Public Health*. Oxford University Press, (1999)
- Mitchell, V.-W., Davies, F., Moutinho, L.and Vassos, V., Using Neural Networks to Understand Service Risk in the Holiday Product, *Journal of Business Research*, Vol.46, pp.167-180, (1999)
- Kramer, R.M. Trust and distrust in organization: Emerging perspectives, enduring questions, *Annual Review of Psychology*, 50, pp.569-598, (1999)
- Slovic, P., Trust, Emotion, Sex, Politics, and Science: Surveying the Risk-Assessment Battlefield, *Risk Analysis*, Vol.19, No.4, pp.689-701, (1999)
- Smith J., Jarman M. & Osborn M. Doing interpretative phenomenological analysis, *Qualitative Health Psychology: Theories and Methods*, pp.218–240, (1999)
- Anderson, J. C. and Narus, J.A. *Business Market Management* Prentice Hall, (1999)

- Rohrmann B., Renn O., *Cross-Cultural Risk Perception: A Survey of Empirical Studies*, Kluwer Academic Publishers, pp.11-54, (2000)
- Yeung, Ruth M.W. and Joe Morris, Food Safety Risk: Consumer Perception and Purchase Behavior, *British Food Journal*, Vol.103, Issue 3, pp.170-186, (2001)
- McKnight, D. H., Choudhury, V., & Kacmar, C. Developing and validating trust measures for E-commerce: An integrative typology. *Information Systems Research*, 13, pp.334-359, (2002)
- Janneke de Jonge, Lynn Frewer, Hans van Trijp. Monitoring consumer confidence in food safety: an exploratory study, *British Food Journal*, 106, pp.837-849, (2004)
- Jonge, J. D., Frewer, L. J., & Trijp, H.V. Monitoring consumer confidence in food safety: An exploratory study, *British Food Journal*, 106, pp.837-849, (2004)
- Berge, L., Kjaernes, U. et al. Trust in food safety Russia, Denmark and Norway, *European Societies*, 7(1), pp.103-129, (2005)
- A.E. Lobb, Consumer trust, risk and food safety: A review, *Food Economics*, 2, pp. 3-12, (2005)
- CAC, *Working Principles for Risk Analysis for Application in the Framework of the Codex Alimentarius, PROCEDURAL MANUAL Sixteenth edition*, Rome, pp.173, (2006)
- FAO/WHO, *Food Safety Risk Analysis: a Guide for National Food Safety Authorities*, Rome, pp.119, (2006)
- De Jonge J., van Kleef E., Frewer L., Renn O., *Perceptions of risk, benefit and trust associated with consumer food choice, Understanding Consumers of Food Products*, 1st Edition (2), Woodhead Publishing, pp.125-149, (2006)
- CAC, *Working Principles for Risk Analysis for Food Safety for Application by Governments*, Rome, pp.41, (2007)
- Jonge, J. D., Trijp, H.V., Goddard, E., Frewer, L. Understanding Consumer Confidence in the Safety of Food: Its Two-Dimensional Structure and Determinants. *Risk Analysis*, 19, Volume 27, Issue 3, pp.729-740, (2007)
- Jonge, J. D., Trijp, H.V., Goddard, E. & Frewer, L. J. Consumer confidence in the safety of food in Canada and the Netherlands: The validation of a generic framework. *Food Quality and Preference*, 19, pp.439-451, (2008)
- Cook, K. S., Gerbasi, A., Trust. In P. Hedstrom & P. Bearman (Eds.). *The oxford Handbook of Analytic Sociology*, Oxford, UK: Oxford University Press, pp.218-241, (2009)
- CAC, *Procedural Manual, 13th edition*, (2013)
- Michael R. Taylor, "Influencing Outcomes in the Global Food System: FDA's Evolving and Expanding Food Safety Role", *The Food and Drug Administration Alumni Association's 2015 Harvey Wiley Award Recipient Lecture*, Food and Drug Law Institute (FDLI) Annual Conference, April 20, (2015)

<和文> (年代順)

- Gilligan, C. *In a Different Voice: Psychological Theory and Women's Development*, Cambridge, MA: Harvard University Press, 1982 (岩男寿美子<監訳>『もうひとつの声：男女の道徳観のちがいと女性のアイデンティティ』(川島書店, 1986))
- Giddens, A. *Central Problems in Social Theory*, University of California Press, 1979 (友枝敏雄, 今田高俊, 森重雄<訳>『社会学の最前線』(ハーベスト社, 1989))
- Luhman[大庭健, 正村俊之<訳>]『信頼』(勁草書房, 1990)
- 崔相鐵「流通における信頼概念の意義」『マーケティングジャーナル』日本マーケティング協会, 第14巻第4号, pp.18-28, (1995)
- 池田三郎, 盛岡通「リスクの学際的定義(高度技術社会のリスク)」『日本リスク研究会誌』5, pp.14-17, (1993)
- 楠見孝「不確実事象の認知と決定における個人差」『心理学評論』37, pp.337-356, (1994)
- 山岸俊男「信頼性の理論と信頼感の理論」『第18回数理社会学会大会研究報告要旨集』pp.59-62, (1994)
- 加藤和明, 才津芳昭「リスクの概念—概念規定の現状とその本質に関する考察」『日本リスク研究会誌』9, pp.87-94, (1997)
- 山岸俊男『信頼の構造—こころと社会の進化ゲーム』(東京大学出版社, 1998)
- 和田充夫『関係性マーケティングの構図』(有斐閣, 1998)
- 山岸俊男『安心社会から信頼社会へ—日本型システムの行方』(中央公論新書, 1999)

- 藤村和宏「サービスの消費行動における知覚リスクの役割」『六甲台論集』第37巻第1号，
神戸大学大学院研究会， pp.50-71， (1999)
- Giddens, A. *New Rules of Sociological Method: A Positive Critique of Interpretative Sociologies, second Edition*, Polity Press, 1993 (松尾精文，藤井達也，小幡正敏<訳>『社会学の新しい方法規準 [第2版]: 理解社会学の共感的批判』(而立書房，2000)
- 真鍋誠司「サプライヤー・ネットワークにおける組織間信頼の意義——日本自動車産業の研究」『神戸大学大学院経営学研究科博士課程学位論文』(2001)
- 山本真理子ほか(編)『社会的認知ハンドブック』(北大路書房，2001)
- 広田すみれ，増田真也ほか『心理学が描くリスクの世界』(慶應義塾大学出版会，2002)
- 吉川肇子，白戸智，藤井聡，竹村和久「技術的安全と社会的安心」『社会技術研究論文集』
Vol. 1, pp.1-8, (2003)
- 吉川肇子，白戸智ほか「技術的安全と社会的安心」『社会技術研究論文集』Vol. 1, pp.1-8,
(2003)
- 澤田学編著『食品安全性の経済評価：表明選好法による接近』(農林統計協会，2004)
- 新山陽子(編)『食品安全システムの実践理論』pp.1-20, (昭和堂，2004)
- 加護野忠男，井上達彦『事業システム戦略』(有斐閣アルマ，2004)
- 木下富雄「リスクコミュニケーション: 思想と技術」『エネルギーレビュー』2月号, pp.520,
(2004)
- Giddens, A. *Modernity and Self-identity: Self and Society in the Late Modern Age*, Polity Press,
1991 (秋吉美都，安藤太郎，筒井淳也<訳>『モダニティと自己アイデンティティ：
後期近代における自己と社会』(ハーベスト社，2005)
- 上野伸子「諸外国政策機関の事例考察からの食品のリスクコミュニケーション機能に関する研究」『年次学術大会講演要旨集』21(1), pp.260-263, (2006)
- 小室ななみ，大泉一貫「食品安全対策に見る信頼の確保に関する研究」『宮城大学事業構
想学部紀要』第9号, pp.81-89, (2006)
- 渡邊雅士，松井三郎ほか「共分散構造分析を用いた食品産業と消費者における信頼形成モ
デルの構築」『環境システム研究論文集』Vol.34, pp.387-393, (2006)
- 木下富雄「不確実性・不安そしてリスク」日本リスク研究会編『増補改訂版リスク学事
典』阪急コミュニケーションズ, pp.13-15, (2006)
- 秋田雄志「リスク雑感」『日本 AEM 学会誌』No.1, (2007)
- 中谷内一也『安全。でも、安心できない—信頼をめぐる心理学』(筑摩書房，2008)
- 野村一正「食品安全確保の現状と課題」『共済総研レポート』pp.13-20, (2008)
- 中谷内一也「リスク管理機関への信頼：SVS モデルと伝統的信頼モデルの統合」『社会心
理学研究』第23巻第3号, pp.259-268, (2008)
- 唐木英明「食品の安全と消費者の安心感--両者を結ぶのは信頼」『日本原子力学会誌』
pp.32-37, (2008)
- 中谷内一也「食品の安全性と食への安心」『日本環境変異学会公開シンポジウム』(2009)
- 島崎敢「事故反復者の視覚情報処理とリスク知覚」『早稲田大学博士学位論文』(2009)
- 西澤真理子，掛谷英紀「安全・安心を得るための食のリスクコミュニケーションの研究」
『浦上財団研究報告書』Vol.17, pp.131-146, (2009)
- 鬼頭弥生「食品由来のリスクに対する態度の構造」『日本リスク研究会誌』19(4),
pp.43-53, (2009)
- 大山耕輔『公共のガバナンス』(ミネルヴァ書房，2010)
- 新山陽子，細野ひろみほか「食品由来リスクの認知要因の再検討」『農業経済研究』第82
巻，第4号, pp.230-242, (2011)
- 新山陽子，鬼頭弥生ほか「食品由来のハザード別にみたリスク知覚構造モデル」『日本リ
スク研究会誌』21(4), pp.295-306, (2011)
- (社団法人)農林水産先端技術産業振興センター(STAFF)「食品産業技術ロードマップ
集—2010年代前半を見通した，より活力あるフードシステムの構築と持続可能な循
環型社会実現への食品産業技術の貢献」pp.13, (2011)
- 中嶋康博「食の信頼を回復するための産官学協働の取り組み—フード・コミュニケーション

- ン・プロジェクトの挑戦』『私は消費者』第3号, pp.1-8, (2011)
- 中嶋康博「食の信頼回復の経済学」『フードシステム研究』第17巻4号, pp.299-304, (2011)
- 中嶋康博「食の安全・信頼の制度と経済システム」『フードシステム研究』第19巻第2号, (2012)
- 細野ひろみ「食のリスクに関する学際的フードシステム研究」(2012),
<http://www.nougaku.jp/award/2012/8-hosono.pdf>
- 臼井宗一「リスクとリスク認知の乖離」『岐阜女子大学食物栄養学会誌(食物栄養と食文化)』2, pp.1-4, (2012)
- 三好恵真子「社会システムにおける安全・安心・信頼—中国の食の安全性をめぐる諸課題」『大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー』第1期, pp.1-21, (2012)
- 高橋梯二「食品の安心や不安をどう理解するか」『日本社会における食品の安心に関する調査研究報告書』(2013)
- 劉培「進取的行動の次元構成、尺度、及び日中比較：項目反応理論と構造方程式モデリングによるアプローチ」『神戸大学大学院ワーキングペーパー』(2013),
<http://www.b.kobe-u.ac.jp/stuwp/2013/201304a.pdf>
- 劉培「認知的・感情的信頼の次元構成と尺度開発—日本と中国のデータを用いて」『神戸大学大学院ワーキングペーパー』(2013),
<http://www.b.kobe-u.ac.jp/stuwp/2013/201305a.pdf>
 (日本) 食品安全委員会パンフレット(2013)
http://www.fsc.go.jp/sonota/pamphlet/2013/pamphlet2013_jap.html)
- 小林良樹「警察に対する国民の信頼に関する理論的考察」『警察学論集』第66巻第6号, pp.1-25, (2013)
- 臼井宗一「食品添加物に関するリスク認知の形成に関する検討」『岐阜女子大学食物栄養学会誌(食文化研究)』第1号, pp.1-6, (2014)
- 本田秀仁, 小川緑ほか「放射線の食品汚染に関するリスク判断の個人差：CRTで予測する」『日本心理学会第78回大会発表論文集』(2014)
- 唐木英明『不安の構造』(エネルギーフォーラム新書, 2014)
- 高橋智輝, 佐藤徹「社会的受容性を考慮した環境影響評価指標の提案」*Journal of Japan Society of Energy and Resources*, Vol. 35, No.2, pp.1-10, (2014)
 (日本) 内閣府食品安全委員会『食品の安全に関するリスクコミュニケーションのあり方に関する報告書』(2015),
https://www.fsc.go.jp/osirase/pc2_ri_arikata_270527.data/riskomiarikata.pdf
- 西澤真理子『リスクコミュニケーション』(エネルギーフォーラム新書022, 2015)
- 山内孝幸「営業における信頼概念に関する考察」『阪南論集(社会科学編)』Vol. 51, No. 2, pp.15-32, (2016)

<中国語> (年代順)

- 呂建華, 安紅周ほか「農薬残留对我国食品安全的影響及相应对策」『食品科技』pp.16-20, (2006)
- 邵海鵬「中国食品産業面臨30年最艱難轉型期」『第一財經日報』(2015)

第3章

【書籍・論文・雑誌】

<英文> (年代順)

- Earle, T.C. & Cvetkovich, G. *Social trust: Toward a cosmopolitan society*. Westport, CT: Praeger Press, (1995)
- Shiping Liu, JuChin Huang, Gregory L. Brown, Information and Risk Perception: A Dynamic Adjustment Process, *Risk Analysis*, Volume 18, Issue 6, pp. 689–699, (1998)
- Jonge, J. D., Frewer, L. J., & Trijp, H.V. Monitoring consumer confidence in food safety: An exploratory study, *British Food Journal*, 106, pp.837-849, (2004)
- Jonge, J. D., Trijp, H.V., Goddard, E., Frewer, L. J. Understanding Consumer Confidence in the Safety of Food: Its Two-Dimensional Structure and Determinants. *Risk Analysis*, 19, Volume 27, Issue 3, pp.729–740, (2007)

- Jonge, J. D., Trijpp, H.V., Goddard, E. & Frewer, L. J. Consumer confidence in the safety of food in Canada and the Netherlands: The validation of a generic framework. *Food Quality and Preference*, 19, pp.439-451, (2008)
- Schermelleh-Engel, K., H. Moosbrugger, H. Müller, Evaluating the fit of structural equation models: tests of significance and descriptive goodness-of-fit measures, *Methods of Psychological Research* 8, pp.23-74, (2008)
- Chen Si, Wu Hao, Lu Xi, The Public's Risk Perception on Food Additives and the Influence Factors, *Journal of Chinese Institute of Food Science and Technology*, Vol.15, No.3, Mar.2015, pp.151-157, (2013)
- Yanan Sun, Xiaoli Yang. The Cause of Trust Crisis of Organic Agricultural Products, *2015 3rd International Conference on Social Science and Education (ICSSE 2015)*, pp.117-122, (2015)
- Michael R. Taylor, Influencing Outcomes in the Global Food System: FDA's Evolving and Expanding Food Safety Role, *The Food and Drug Administration Alumni Association's 2015 Harvey Wiley Award Recipient Lecture, Food and Drug Law Institute (FDLI) Annual Conference*, April 20, (2015)

<和文> (年代順)

- 山岸俊男『安心社会から信頼社会へ』(中央公論新社, 1999)
- 柏崎守「新しい食品安全行政の展開—食品のリスク評価とリスク管理を分離—」日本SPF豚研究会『All About Swine』24, pp.6-10, (2004)
- 澤田学編著『食品安全性の経済評価—表明選好法による接近』(農林統計協会, 2004)
- 佐藤和夫・合崎英男ほか「食品安全性に関する知識が消費者の態度に与える影響—BSE問題の共分散構造—」『農業情報研究』第14巻1号, pp.39-49, (2005)
- 中谷内一也「リスク管理機関への信頼: SVSモデルと伝統的信頼モデルの統合」『社会心理学研究』第23巻第3号, pp.259-268, (2008)
- 中嶋康博「食の安全・信頼の制度と経済システム」『フードシステム研究』第19巻2号, pp.55-61, (2012)
- 中谷内一也「食品の安全性と食への安心」『日本環境変異学会公開シンポジウム』(2009)
- 玉置悦子「食品安全性をめぐる消費者意識の実証研究」『総合政策論叢』第22号, pp.57-83, (2012)
- 王鳳陽, 錢学鵬, 周瑋生, 仲上健一「消費者意識調査による中国の食品安全信頼性とその規定要因に関する実証研究」『フードシステム研究』第22巻第3号, pp.299-304, (2015)

<中国語> (年代順)

- 張星聯, 唐曉純「我国食品安全問題產生的原因及对策」『食品科技』05期, pp.1-5, (2005)
- 周心恆ほか「食品安全: 消費者態度、購買意願及信息的影響—对南京市超市消費者的調查分析」『中国農村經濟』pp.53-59, (2004)
- 「不安的食品」『中国新聞週刊』(29), (2007)
- 毛建国「食品安全的“安”与“不安”」『中国社会保障』06期, (2013)
- 呂建華, 安紅周, 郭天松「農薬残留对我國食品安全的影響及相应对策」『食品科技』第11期, pp.16-20, (2006)
- 馬仁磊「食品安全風險交流國際經驗及对我國的啓示」『中国食物与营养』19(3), pp.5-7, (2013)
- 吳園, 王妍「信息不对称視覚下的食品安全風險交流策略研究」『糧食与食品工業』04期, pp.82-87, (2014)
- 「中国中央電視台(CCTV)調查顯示: 約7成消費者拒用国産奶粉」『北京晨報(朝刊)』2011年02月28日。
- 田敏「南京市消費者乳品質安全風險認知及規避行為研究」『南京農業大学修士學位論文』(2012)
- 馮海寧「国産奶百分百合格消費者为啥不放心」『中国商報』2015年08月25日。
- 中国乳業協会『中国乳業品質報告2016』(2016)
- 吳園, 王妍「信息不对称視覚下的食品安全風險交流策略研究」『糧食与食品工業』04期,

- pp.82-87, (2014)
- 中国国家统计局『中国統計年鑑 (2015)』
第4章
- 【書籍・論文・雑誌】
- <英文> (年代順)
- George A., The Market for ‘Lemons’: Quality Uncertainty and the Market Mechanism, *The Quarterly Journal of Economics*, Vol.84, No. 3, pp.488-500, (1970)
- Jonge, J. D., Frewer, L. J., & Trijp, H.V. Monitoring consumer confidence in food safety: An exploratory study, *British Food Journal*, 106, pp.837-849, (2004)
- Jonge, J. D., Trijp, H.V., Goddard, E., Frewer, L. J. Understanding Consumer Confidence in the Safety of Food: Its Two-Dimensional Structure and Determinants. *Risk Analysis*, 19, Volume 27, Issue 3, pp.729-740, (2007)
- Jonge, J. D., Trijp, H.V., Goddard, E. & Frewer, L. J. Consumer confidence in the safety of food in Canada and the Netherlands: The validation of a generic framework. *Food Quality and Preference*, 19, pp.439-451, (2008)
- LIU Yuanyuan. ZENG Yinchu. Consumers' Response to the Melamine Scare in Dairy Markets—Empirical Analysis Based on the Consumer Surveys. *Food and Nutrition in China*. 20(3).pp. 38-43, (2014)
- Remes O. et al., A systematic review of reviews on the prevalence of anxiety disorders in adult populations, *Brain and Behavior*, DOI: 10.1002/brb3, pp.497, (2016)
- <和文> (年代順)
- 山岸俊男, 小見山尚「信頼の意味と構造: 信頼とコミットメント関係に関する理論的・実証的研究」『株式会社原子力安全システム研究所 INSS Journal』2, pp.1-59, (1995)
- 佐藤和夫, 合崎英男, 吉川肇子, 澤田学「食品安全性に関する知識が消費者の態度に与える影響:-BSE問題の共分散構造分析-」『農業情報研究』第14巻1号, pp.39-49, (2005)
- 野村一正「食品安全確保の現状と課題」『共済総研レポート』pp.13-20, (2008)
- 辻本英夫「極端反応傾向と認知的複雑性との関連」『大阪市立大学大学院研究紀要』第59巻, pp.33-50, (2008)
- 高橋久仁子「健康情報娯楽テレビ番組に起因したフードファディズム」『群馬大学教育学部紀要』第43巻, pp.175-183, (2008)
- 向殿政男「日本と欧米の安全・リスクの基本的な考え方について」『標準化と品質管理』Vol.61, No.12, pp.4-8, (2008)
- 島津直実「反応スタイル尺度の作成と信頼性・妥当性の検討」『早稲田大学教育学部学術研究(教育心理学編)』第58号, pp.29-39, (2010)
- 中嶋康博「食の信頼を回復するための産官学協働の取り組み—フード・コミュニケーション・プロジェクトの挑戦」『私は消費者』第3号, pp.1-8, (2011)
- 陳欽蘭(王冬榕<訳>)「サービス業におけるマーケティングの性別的な差異に関する研究」『東アジア評論』第3号, pp.15-22, (2011)
- 三好恵真子「社会システムにおける安全・安心・信頼—中国の食の安全性をめぐる諸課題」『大阪大学中国文化フォーラム・ディスカッションペーパー』第1期, pp.1-21, (2012)
- 埴淵知哉, 中谷友樹ほか「社会調査における回収率の地域差とその規定要因: 個人および地域特性を考慮したマルチレベル分析」『地理学評論』85(5), pp.447-467, (2012)
- 唐木英明「食の安全と消費者の安心」『モダンメディア』60巻4号, pp.91-97, (2015)
- <中国語> (年代順)
- 劉文, 李強「食品安全網絡輿情監測与干預策略初探」『中国科技論壇』第7期, pp.44-49, (2012)
- 田敏「南京市消費者乳品質安全風險認知及規避行為研究(中国語)」『南京農業大学修士學位論文』(2012)
- 関大偉等「当前政務微博存在的問題及今後發展的几点建議(中国語)」『今日中国論壇』第

- 21 期, pp.374, (2013)
- 陳君石「食品安全風險重在科學交流」『中國食品安全報』2013 年 1 月 17 日 A04 版
- 吳林海, 黃衛東『中國食品安全網絡輿情發展報告 2012』(人民出版社, 2013)
- 李新「H7N9, 家禽業不該忍受之痛」『中國家禽』第 10 期, pp.57-60, (2013)
- 李晶, 趙鳳龍「2013 年中國白羽雞市場回顧及 2014 年展望」『中國畜牧雜誌 (Chinese Journal of Animal Science)』第 2 期, pp.24-29, (2014)
- 吳園, 王妍「信息不對稱視角下的食品安全風險交流策略研究」『糧食與食品工業』第 4 期, pp.82-87, (2014)
- 劉剛「食品安全視角下的消費者信息搜尋行為研究」『農產品質量安全』第 2 期, pp.35-42, (2016)
- CNNIC『第 37 回中國互聯網發展狀況統計報告』(2016)
- 羅燕「風險交流仍為食品安全短板」『民生週刊』第 10 期, (2015),
http://paper.people.com.cn/mszk/html/2015-05/18/content_1566603.htm.
- 中國國家統計局『中國統計年鑑 (2015)』

【その他資料】

WHO : http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/
 第 5 章

【書籍・論文・雑誌】

<和文> (年代順)

- 小室ななみ, 大泉一貫「食品安全対策に見る信頼の確保に関する研究」『宮城大学事業構
 想学部紀要第 9 号』pp.81-89, (2006)
- 野村一正「食品安全確保の現状と課題」『共済総研レポート』pp.13-20, (2008)
- 森路未央「中国における食品安全法と関連新規則の整備状況」『中国経済』(2009)
- 森路未央「中国における食品安全政策・政府の管理体制の現状と課題—主な法律・政策の
 整備状況」『中国農村改革と農業産業化』(池上彰英・宝劔久俊/編) アジア経済
 研究所, pp.115-116, (2009)
- Net Mile リサーチ「日中比較：食品の安全についての調査レポート」(2011)
- 梶川千賀子『食品安全問題と法律・制度』(農林統計出版, 2012 年)
 (日本) 農林水産省「食料・農業・農村白書---食的安全 (平成 24 年版)」(2012)
 (日本) 内閣府『食育白書 (平成 25 年版)』(2013)
- 食品衛生研究会編『食品衛生小六法 (平成 26 年版)』(2013)
- 李東坡, 南石晃明「中国における食品安全行政の新局面及びその課題—國務院機構改革と
 日本の経験」『九大農学芸誌』第 68 巻第 2 号, pp.35-47, (2013)
- ジェトロ「日本食品に対する海外消費者意識アンケート調査」(2013)
 (日本) 厚生労働省医薬食品局食品安全部「食品の安全確保に向けた取組」(2013)
- 株式会社リクルートライフスタイル『HOT PEPPER』1 月号, (2014)
https://www.jetro.go.jp/ext_images/jfile/report/07001256/kaigaishohisha_Rev.pdf
- 日本政策金融公庫「平成 26 年度上半期消費者動向調査」(2014)
- 王鳳陽, 周瑋生, 蔡建国, 仲上健一「日本における食品安全の確保に関する制度的研究」
 『政策科学』第 22 巻 1 号, pp.23-37, (2014)
- 王鳳陽, 周瑋生, 銭学鵬, 仲上健一「中国における食品安全信頼の向上をめざすリスクコ
 ミュニケーション」『社会システム研究』第 33 号, pp.55-85, (2016)

<中国語> (年代順)

- 肖平輝, 閻志剛「中国食品安全行政管理体系初探 (中国語)」『太平洋学報』第 2 期, (2007)
- 胡小松「經濟快速增長下的中国食品安全問題 (中国語)」『食品与机械』01 期, (2007)
- 張樹義「建言食品安全法草案 (中国語)」『法制日報』4 月 23 日, (2008)
- 國家食品藥品監督管理總局「2012 年度統計年報」
- 崔卓蘭, 趙靜波「我国食品安全監管・法律制度之改革与完善 (中国語)」『吉林大学社会科学学報』第 52 巻第 4 期, pp.102-108, (2012)

王宇紅「我国轉基因食品安全政府規制研究（中国語）」『西北農林科技大学博士論文』（2012）
工商総局：食菓総局成立後工商不管食品是誤解」『科学日報』6月27日，（2013）
馬仁磊「食品安全風險交流国際経験及対我国的啓示（中国語）」『中国食物与栄養』19(3),
pp.5-7,（2013）
陳君石「食品安全風險重在科学交流（中国語）」『中国食品安全報』1月17日 A04版，（2013）
張良「完善我国消費者保護法律制度的思考（中国語）」『中州学刊』第4期，（2014）
劉鵬，張蘇劍「中国食品安全監管体制的縦向權力配置研究（中国語）」『華中師範大学学報
（人文社会科学版）』第54卷第1期，（2015）
呂青斌「論我国食品安全監管中公衆参与制度的完善（中国語）」『法制与社会』第3期，（2015）

【その他資料】

法なび法令検索：「昭和22年法律第233号（食品衛生法）について——昭和22年法律第
233号の沿革（改正履歴等）」<http://hourei.hounavi.jp/seitei/enkaku/S22/S22HO233.php>
2016年06月21日閲覧

参議院法制局の下の法制執務コラム集：

<http://houseikyoku.sangiyo.go.jp/column/column010.htm> であり、データの引用先は：

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S22/S22HO233.html>，2016年06月21日閲覧

法なび法令検索：「平成15年法律第48号（食品安全基本法）について——平成15年法律
第48号の沿革（改正履歴等）」

<http://hourei.hounavi.jp/seitei/enkaku/H15/H15HO048.php>

（日本）内閣府—食品安全委員会：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/>

（日本）厚生労働省

<http://search.e-gov.go.jp/servlet/Organization?class=1050&objcd=100495&dispgrp=0100>，2016年06月22日閲覧

（日本）農林水産省：<http://www.maff.go.jp/pps/j/map/moji/moji.html>，2016年06月21日閲覧

（日本）農林水産省：<http://www.maff.go.jp/aqs/sosiki/05.html>，2016年06月21日閲覧

（日本）消費者庁：<http://www.caa.go.jp/soshiki/caa/index.html>，2016年06月22日閲覧

（日本）消費者庁：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/091210kouhyou_1-2.pdf

（日本）総務省 e-Gov（イーガブ）法令データ検索：

<http://law.e-gov.go.jp/announce/H25HO070.html>，2016年06月22日閲覧

法なび法令検索：<http://hourei.hounavi.jp/seitei/enkaku/H14/H14HO053.php>

第6章

【書籍・論文・雑誌】

<和文>（年代順）

中嶋康博「食の安全・信頼の制度と経済システム」『フードシステム研究』第19巻2号，
pp.55-61，（2012）

<中国語>（年代順）

胡衛中「消費者食品安全風險認知的実証研究」『浙江大学博士学位論文』（2010）

余從田「我国食品安全問題產生的原因与对策分析」『食品工業』06期，（2012）

郭文奇「关于我国食品安全問題的深層思考」『中国食品学報』第13巻第1期，（2013）

周妮「我国食品安全現状、成因及对策」『長江大学学报（自然科学版）』第12巻第33期（农
学下旬刊），（2015）